※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等	家庭科 55 デジタル＋（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・人の一生と家族・家庭及び福祉、住生活、消費生活・環境について幅広く学習します。将来の自立に向け知識を習得し社会や生活への理解と考えを深めましょう。
・講義では教科書と資料集を使いプリント学習を行います。板書を写すだけでなく授業のポイントや気付いたことを記入することで評価が高くなります。
・体験学習やグループワークを取り入れ、より実践的な態度を養います。周りの人と協働しながら自分を表現し、他者の意見を聞くことで視野を広げる機会を設けます。

２　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働しよりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質･能力を次のとおり育成することをめざす。
（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。
（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し実践を評価･改善し、考察したことを論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　生涯を見通す	1 人生を展望する 2 目標を持って生きる	a: 人の一生について，自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 b:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え，ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。 c:様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り
	第2章　人生をつくる	1 人生をつくる 2 家族･家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	a:生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。家族・家庭の機能と家族関係について理解している。男女の平等と協力について理解を深めている。 b:男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだし、課題を解決する力を身に付けることができる。 c:現在、将来の生活を工夫・創造し、実践しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り
2学期	第3章　子どもと共に育つ	1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境	a:乳幼児の心身の発達や親の役割と保育環境について理解することができる。 b:現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について課題を見つけ、解決への考えをまとめることができる。 c:子どものための遊びや文化などの実践活動に積極的に参加し、子どもの発達の様子や生活に興味・関心を持とうとしている。	定期テスト 提出物	定期テスト 提出物	作品の制作 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第４章　超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢期の心身の特徴 3 高齢者の自立を支える 4 これからの超高齢社会	ａ：高齢者の心身の特徴や社会の課題について理解することができる。 ｂ：高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 ｃ： 体験実習においては、積極的に参加し、高齢者の状況を把握しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り
	第５章　共に生き，共に支える	1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	a: 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 b:支えあう社会とは何かを主体的に考え社会福祉についての考えをまとめることができる。 c: 社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り
３学期	第９章　経済生活を営む	1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活	a: 消費生活の現状と課題について理解を深め，消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解することができる。契約についての知識を身に付けることができる。 b: 自立した消費者として責任ある消費について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。 C: 生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えようとしている。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	第8章　住生活をつくる	1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活	a: 住居の機能や気候・風土とのかかわりに関心を持ち，各地の気候・風土に適した住まいを理解している。 b:快適な住空間や安全な住まいについて判断することができる。 c: 住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的に取り組もうとする。	定期テスト	定期テスト 提出物	提出物 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度